

教科 Subject	美術		科目 Course	美術	学年 Grade	1	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	美術1 (光村図書)			副教材Additional Text /materials	感じる表す美術 (浜島書店) 西洋美術史プリント他			
科目の目標 Course Objectives			表現および鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。					
評価の基準 Assessment Standards			授業への取り組み姿勢と完成作品を評価の柱とし、定期試験や似顔絵テストの得点を加味して最終的な評価とする。定期試験の比重は観点により異なる。					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	・オリエンテーション			・美術授業における心得を学ぶ。		
		2	・大切な人や友達をあらわす			・バランスの良い入れ方 (構図) について理解を深められる。		
		3	1. 鉛筆によるデッサン			・作業手順について理解し、丁寧な観察描写ができる。		
	5	4	2. 生徒作品を鑑賞する			・影のつき方を観察して立体感のある表現ができる。		
		5				・自他の作品を鑑賞し、成果を確かめられる。		
	6	6						
		7	・似顔絵			・似顔絵について理解し、創意工夫して表現できる。		
2 学期	9	8	・鑑賞			・名画の鑑賞を通して芸術作品の良さに触れる。		
		9	・漢字とイメージの融合			・「抽象」と「具象」の違いを理解できる。		
		10	1. イメージのトレーニング			・色についての理解を深めることができる。		
		11	2. 色と絵具について			・レタリングについて理解を深めることができる。		
		12	3. レタリングについて			・抽象芸術を鑑賞することで、制作の意欲を高める。		
	10	13	4. 抽象作品の鑑賞			・イメージを広げスケッチをすることができる。		
		14	5. 漢字1字選び、その漢字からイメージを広げる			・ゴシック体を理解し、丁寧に写すことができる。		
11	15	6. スケッチブックに漢字のレタリングをする			・着色を前提として、線を美しく構成することができる。			
	16	7. 漢字とイメージの線を同一画面に融合させる			・色の組み合わせに配慮し、丁寧に着色することができる。			
	17	8. イメージを広げアクリルガッシュで着色する			・自他の作品を鑑賞し、成果を確かめることができる。			
	18	9. 生徒作品の鑑賞			・様々な作品の特徴をとらえることができる			
	19	・鑑賞 (鑑賞カードと西洋美術史)			・西洋美術史についての関心・理解を深めることができる			
12	20	・絵手紙			・絵手紙独自の表現方法を理解することができる			
	21	1. 表現方法について学ぶ			・固形水彩絵の具の特徴を理解することができる。			
	22	2. 制作			・身近なものの美しさを感じ、感情をこめて表現できる。			
3 学期	1	23	・形を丸ごと感じてみよう			・立体作品の鑑賞を通して、彫刻の良さを感じられる。		
		24	1. 過去の作品の鑑賞			・「だます」視点に立って発想を広げることができる。		
	2	25	2. 制作			・モチーフもしくは資料を忘れず準備することができる。		
		26	粗付け			・ポリウムに配慮して効果的に粗付けすることができる。		
		27	↓			・石粉粘土の特性を理解し、適切に扱うことができる。		
	3	28	細部の作り込み			・へらを使い分けて細部をリアルに表現することができる。		
		29	3. アクリルガッシュによる着色			・本物の持つ色に近づけて着色することができる。		
	3	30	4. 必要に応じてニス塗り			・「だます」狙いを最大限に引き出す環境を見つけられる。		
		31	5. 生徒作品の鑑賞			・自他の作品を鑑賞し、成果を確かめることができる。		
32								
33								
34								
35								

履修者へのメッセージ Message for Students

「好きこそものの上手なれ」という言葉の通り、まずは美術を好きになることが上達への近道です。さらに、上手に表現できるようになると、もっと高度な表現がしたくなるものです。美術の基礎をしっかりと学び表現の幅を広げてください。そして美術を楽しむ心を育ててください。似顔絵は毎回のテストで必ず出題されるので、テキストなどを参考にしながら定期的に練習しましょう。

教科 Subject	美術		科目 Course	美術	学年 Grade	2	単位数 Credits	1
教科書 Textbook	美術 2・3 (光村図書)			副教材Additional Text /materials	感じる表す美術 (浜島書店) 仏像の歴史プリント他			
科目の目標 Course Objectives			表現および鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。					
評価の基準 Assessment Standards			授業への取り組み姿勢と完成作品を評価の柱とし、定期試験や似顔絵テストの得点を加味して最終的な評価とする。定期試験の比重は観点により異なる。					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	・静物デッサン ・フェイクブロックと缶をモチーフとして 鉛筆デッサン (立体的な表現) の基礎を学ぶ			・課題の狙いを理解して制作への意欲を高められる。 ・遠近感 (パース) を意識して形をとることができる。 ・だ円の形に気をつけて形をとることができる。 ・光の方向を意識して陰影をつけることができる。 ・トーンに変化をつけて完成させることができる。		
		2						
		3						
	5	4	・木版画 1. 鑑賞 (仏像について) 2. 下絵作成			・仏像の様式・歴史について興味を持つことができる。 ・お気に入りの仏像を見つけ、表現の意欲を高められる。 ・画面への入れ方を工夫することができる。		
		5						
	6	6	3. 版画板への転写 4. 制作			・版画作品であることを意識して、線の単純化を施し、デッサンで学んだことを踏まえて明暗をつけることができる。 ・彫刻刀の種類による彫り跡の表情の違いを理解し、制作を進めることができる		
		7						
2 学期	9	8	5. 試し刷り (必要に応じて修正を加える)			・陰刻・陽刻の使い分けをし、明暗の対比を考えて彫り進めることができる。		
		9						
	10	10	6. 本刷り			・試し刷りをして、現時点で作品に足りない要素を見つけ、さらに上の表現を求めることができる。		
		11						
	11	11	7. 鑑賞			・インクの付け方やバレンでのこすり方など、印刷の行程においても妥協なく作業することができる。		
12								
3 学期	1	13	・ピクトグラム (SGHに関するマークをつくる) ・鑑賞 (ピクトグラムとは) ・単純化の練習			・ピクトグラムとはどのようなものか理解を深められる。 ・学んだことを生かし、対象を単純化することができる。		
		14						
		15						
	2	16	・制作			・アイデアスケッチを重ね、シンプルかつ情報伝達力の高いデザインにまとめることができる。		
		17						
	3	18	・鑑賞			・効果的な色の組み合わせを見つけ、着色することができる。		
19								
20	・鑑賞 (パリの芸術)			・自他の作品を鑑賞し、成果を確かめることができる。 ・国際理解研修への意欲を高める。				

履修者へのメッセージ Message for Students

1年生の時に学んだことを生かして、さらに高度な表現にチャレンジします。デッサンで陰影の付け方を学んだら、それを生かして単色木版画の制作をします。明暗のコントラストをいかにバランスよく表現するかが重要なポイントです。ピクトグラムでは「伝える」デザインの基礎を学びます。

似顔絵は毎回のテストで必ず出題されるので、テキストなどを参考にしながら定期的に練習しましょう。

教科 Subject	美術		科目 Course	美術	学年 Grade	3	単位数 Credits	1
教科書 Textbook	美術 2・3 (光村図書)			副教材Additional Text /materials	感じる表す美術資料 (浜島書店) 美術史プリント他			
科目の目標 Course Objectives			表現および鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。					
評価の基準 Assessment Standards			授業への取り組み姿勢と完成作品を評価の柱とし、定期試験や似顔絵テストの得点を加味して最終的な評価とする。定期試験の比重は観点により異なる。					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	・いろいろな技法 スパッタリング、マーブリング、スクラッチなど			・いろいろな絵画技法を、実習を通して学ぶことができる。		
		2						
		3						
	5	4	・国際理解研修での心構え ・国際理解研修の思い出 1. 国際理解研修でのさまざまな経験のうち、何を主題に表現するか決める 3. ロンドンでの思い出を絵にする 4. 表現方法を考え、素材を準備する 5. 制作 (試験前：鑑賞)			・国際理解研修に行くにあたり、美術授業に活かせる素材収集の重要性を知る。 ・主題を明確にして構図を考えることができる。 ・学んだ技法を積極的に取り入れられる。 ・「したこと」でなく「感じたこと」を表現できる。 ・写真の加工等、積極的に表現の工夫をすることができる。 ・制作期日を考えて、計画的に作業を進めることができる。 ・美術史についての理解を深めることができる。		
		5						
6	7	6. 生徒作品の鑑賞			・自他の作品を鑑賞し、成果を確かめることができる。			
	8							
9								
2 学期	9	13	・篆刻と石の彫刻 1. 篆刻について知る 2. 印面のデザインを考える 3. 篆刻刀の使い方を学ぶ 4. 印面の彫刻			・陰刻・陽刻について理解することができる。 ・オリジナリティあふれる印面の図案を考えられる。 ・怪我や失敗のない道具の扱い方を知り実践できる。 ・石に下絵を転写し、手際よく彫り進めることができる。 ・試し刷り後、必要に応じて修正を加えることができる。 ・素材の形を生かした無駄のないデザインを考えられる。 ・正面図、側面図など、立体的に形を組み立てられる。 ・大胆な粗彫りで目標とする形に近づけることができる。 ・細部にまで妥協せず、理想の形を追求することができる。		
		14						
		15						
	10	16	5. 本体のデザインを考える 6. 本体の彫刻 (試験前：鑑賞)			・磨きまで行き、作品を完成させることができる。		
		17						
11	18	7. 色紙への印押し			・中学生生活最後の記念作品として、クラスメイトの色紙に各自が楽しんで印を押すことができる。			
	19							
	20							
3 学期	1	21	7. 色紙への印押し			・中学生生活最後の記念作品として、クラスメイトの色紙に各自が楽しんで印を押すことができる。		
		22						
	2	23	7. 色紙への印押し			・中学生生活最後の記念作品として、クラスメイトの色紙に各自が楽しんで印を押すことができる。		
24								
3	25	7. 色紙への印押し			・中学生生活最後の記念作品として、クラスメイトの色紙に各自が楽しんで印を押すことができる。			
	26							
3	27	7. 色紙への印押し			・中学生生活最後の記念作品として、クラスメイトの色紙に各自が楽しんで印を押すことができる。			
	28							
3	29	7. 色紙への印押し			・中学生生活最後の記念作品として、クラスメイトの色紙に各自が楽しんで印を押すことができる。			
	30							
3	31	7. 色紙への印押し			・中学生生活最後の記念作品として、クラスメイトの色紙に各自が楽しんで印を押すことができる。			
	32							
3	33	7. 色紙への印押し			・中学生生活最後の記念作品として、クラスメイトの色紙に各自が楽しんで印を押すことができる。			
	34							
3	35	7. 色紙への印押し			・中学生生活最後の記念作品として、クラスメイトの色紙に各自が楽しんで印を押すことができる。			
	35							

履修者へのメッセージ Message for Students

3年生になると自分自身のイメージを広げて主体的に取り組む課題になります。「国際理解研修の思い出」課題では、国際理解研修での感動を、様々な技法を駆使して表現します。中学生生活最後の「石の彫刻」では、石という素材の持つ魅力に触れ、これまでにない楽しさを味わうことができると信じています。似顔絵は毎回のテストで必ず出題されるので、テキストなどを参考にしながら定期的に練習しましょう。